

会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第2回定例会
- 2 開 催 日 時 令和4年9月29日(木)14時00分～16時30分
- 3 開 催 場 所 木更津市立中央公民館 B館3階多目的ホール
- 4 出席者氏名【公民館運営審議会委員】20名

座間 良彦 小出 京子 小山百合子 石川 泰子 北村 和則
石田美穂子 青木 健 市川 一成 実形 昭夫 関口由美子
清水 正夫 秋元 豊 原田 洋子 加山 恒夫 小倉 博史
岩田 眞爾 山下紀世美 鶴岡 俊之

【公民館長】15名

水越 学 (中央公民館) 佐々木英之 (東清公民館)
渡邊 祐二 (富来田公民館) 多賀 一也 (清見台公民館)
相場 明彦 (岩根公民館) 松本 明子 (畑沢公民館)
佐藤 千明 (鎌足公民館) 前田 達哉 (岩根西公民館)
岡田 清治 (中郷公民館) 江尻 益男 (西清川公民館)
星野 隆弘 (富岡公民館) 河野 勝 (波岡公民館)
小倉 敏幸 (文京公民館) 市原 浩 (桜井公民館)
石井 一彦 (八幡台公民館)

【金田地域交流センター/金田出張所】

江澤 茂典(金田地域交流センター長)
石田 美鈴(金田出張所長)

【事務局職員】4名

山下要一郎 (中央公民館副館長)
進藤 颯 (中央公民館事務員)
宮城三津子 (会計年度任用職員)
長谷川 彰久(会計年度任用職員)

- 5 議題及び公開又は非公開の別 公開
議案第1号 令和4年度公民館文化祭(まつり)及び視察研修の実施
その他報告及び連絡事項
- 6 傍聴人の数 2人
- 7 会議概要 以下のとおり

事務局より、出席者数が2分の1以上に達した(20名の定員に対して20名の出席)ので、本会議が成立したこと、及び、本会議は公開制であることを報告し、令和4年度木更津市立公民館運営審議会第2回定例会を開会する。委員長挨拶の後、委員長の議長により議案審議に入る。

議案第1号 令和4年度公民館文化祭(まつり)及び視察研修の実施について

青木 健 委員長:これより、議長を務めさせていただきますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。
議案第1号「令和4年度公民館文化祭(まつり)及び視察研修の実施について」です。実施内容について5館ずつ区切って説明をお願いします。まず、中央・富来田・岩根・鎌足・中郷公民館をお願いします。初めに、水越中央公民館長、をお願いします。

水越中央公民館長:中央公民館からご説明いたします。まずは、統括館の館長として述べさせていただきます。台風から続く世界的な感染症の流行で、ここ3年間は事業についても実施できない状況が続いていました。まだまだ予断はできませんが、ようやく終息の気配が見え、公民館としても明るい兆しが見えてきました。そんな中で、公民館の今年度の重点目標の一つ、「地域コミュニティの再生」のひとつとして、文化祭の開催をとらえ、全館が開催に向けて踏み出せたことに、感謝と喜びを感じています。公民館としてもこれまで当たり前のように実施してきた文化祭をある意味新しい視点でとらえて、新たなアプローチをしていく機会としています。委員の皆さんにおかれましても、地元文化祭開催の新しいアイデアなどあれば、ぜひ職員や市民に寄せていただければと思っています。

さて、中央公民館は、3年ぶりの開催となります。規模的には、これまでと比べてもささやかなものとなりますが、展示を中心として、発表やイベント、セレモニーを予定しています。飲食関係のイベントに関しては、団体の判断によるところですが、まちづくり協議会のコミュニティカフェを開催し、おいしいコーヒーを提供したいと思います。その他詳細については資料のとおりです。以上です。

青木 健 委員長:次に、富来田公民館渡邊館長、をお願いいたします。

渡邊富来田公民館長:説明させていただきます。資料6ページになります。今までの経緯ですが、7月1日に富来田地区まちづくり協議会総会開催時に、事業計画の中で、区長会が主体として運営してきた文化祭は、「今年は開催する方向で検討して頂き、まちづくり協議会は支援を行う。」との説明を正式に頂きました。その後、感染状況の悪化に伴い、コスモスフェスティバルは中止となりましたが、開催する方向で9月28日に第1回実行委員会を開催し内容を決めて頂きました。規模的には例年に比べ縮小となりますが、文化祭のテーマについては、小中学生にテーマを公募、実行委員会で選出して頂き、「伝えよう

文化「つなげよう富来田の心」に確定しました。テーマの応募に対し、最優秀賞などの表彰をセレモニーの中で実施します。事業日程及び内容ですが、展示発表、団体の芸能発表、イベントなど資料のとおりです。以上です。

青木 健 委員長:次に、岩根公民館相場館長、お願いいたします。

相場岩根公民館長:岩根公民館の相場です。岩根東地区文化祭の実施及び取組、その経緯について説明いたします。文化祭の実施の有無についてと取組に向けて、7月に文化祭に関するアンケートをサークルや関係団体に実施いたしました。結果は展示8、主催授業3、発表6、催物5でした。8月2日に公民館運営協力委員会役員会を行い、この結果を報告いたしました。コロナ感染の心配や感染予防の関係で意見が出されましたが、最終的には「実施日が10月29日30日ということで、この先の感染状況によって中止の判断はできるけれど、実施するにあたりサークルや関係団体が事前に準備する時間が必要になるので、実施の方向で準備をしましょう」ということになりました。

この会議の決定を受け、8月30日に第1回文化祭実行委員会を開催しました。ここでは、実行委員やテーマ「つなげよう岩根 広げよう豊かな心」の決定、内容は展示・発表・催物の3部門を実施するか、食べ物については、出来た物を販売することと出来れば持ち帰って食べて頂くよう声かけをすることなどが話し合われ、決定・承認されました。また、感染予防、集客方法について話し合いました。集客については、小中学校の展示作品を岩根中学校体育館に展示することや、発表に小中学生の合唱や外部から発表者を招く等の案を提示し、承認されました。展示については公民館と岩根中学校体育館で実施することになりました。感染予防について、日頃の取組である検温・消毒・マスクをつけることや客席の間隔を開けること、配付するチラシに来館者の氏名・連絡先を記入する欄を作り、事前に記入してもらうことで受付時の密を避けること、定期的に換気することなど、三密を避ける工夫をしていくことを確認しました。明日、第2回文化祭実行委員会が実施されます。この場で感染予防について再度確認すると共に、サークルや関係団体に寄り添い安心安全な文化祭を目指していきたいと考えております。以上です。

青木 健 委員長:次に、鎌足公民館佐藤館長、お願いいたします。

佐藤鎌足公民館長:鎌足地区では、10月29日(土)と30日(日)に「広げよう 深めよう 鎌足文化」をテーマに地区文化祭を開催いたします。昨年度は文化祭を中止し、「秋の鎌足展」と称したサークル団体の作品展示を行いました。文化祭としては3年ぶりの開催となります。29日は展示発表、30日は展示発表に加えて模擬店を出店します。また、両日ともいくつかのサークルの映像による発表については、大型モニターを活用して行います。展示部門では、書道、写真、陶芸、絵手紙、浮書絵、木彫りなどの作品や地元児童、生徒

の作品を展示します。さらに、今までになかったものとして、まち協青少年育成部会が夏休みに主催しているラジオ体操のポスターを小学生に募集して書いてもらった作品も展示します。30日の模擬店では、野菜・陶芸作品・革製品などの販売や焼きそば・フランクフルト・大学芋などの食品販売も行います。鎌足恒例の屋外でのトラックステージによる屋外会場での敬老会は中止となりましたが、多くの地元住民の方に楽しんでいただけるような催しになるよう、実行委員会を中心に準備を進めているところです。また、文化祭と同時進行で、10月9日(日)にかずさアカデミアホールで開催される、まち協主催による「かまフェス2022」に向けても準備を進めており、職員は忙しい日々を過ごしています。こちらのほうが地域内外の参加者がおり、規模としては文化祭以上のものになると思われます。両イベントとも、受付での検温・消毒・名簿記入などの徹底、マスク着用や密を避けるなどこれまでのコロナ感染予防対策をとり、終わってからも開催してよかったと言えるものにしていこうと、地域を挙げて取り組んでいます。以上です。

青木 健 委員長:次に、中郷公民館岡田館長、お願いいたします。

岡田中郷公民館長:中郷公民館でございます。よろしくお願いいたします。中郷地区文化祭について、説明させていただきます。5月19日に第1回公民館運営協力委員会を開催し、地区文化祭についての話し合いもいたしました。昨年同様に利用サークルへアンケート調査を実施し、意見を反映して開催について決定することといたしました。7月に公民館利用サークルへ文化祭の開催に向けてのアンケート調査を実施いたしました。利用16サークルにアンケートを依頼いたしまして、15サークルから回答をいただきました。開催に対して、開催しない方がよいという回答が9サークル。開催した方がよいという回答が2サークル、残りの4サークルは感染状況を見てからの判断等の回答を得ました。アンケート調査の結果を踏まえ、開催しないほうが良いが、多数あったが、制作活動を中心としたサークル等から、展示を中心とした開催の要望があり、これらを踏まえ、サークル活動の活性化及び地域との繋がりを大切に、文化祭については、感染防止を徹底し無理をせず、飲食は無しとして、作品展示のみの開催といたしました。例年、学校行事に合わせ、学校を会場として開催をしており、今回も、小学校の授業参観に合わせて日程を調整いたしましたが、コロナ禍の折、小学校の予定が変更になりましたので、公民館を会場としての開催となりました。9月8日に、公民館運営協力委員会役員と出展サークルの代表者で、第1回文化祭実行委員会を開催し、作品展示のみの開催ということで確認をいたしました。今後とも、利用者の皆様や地域の方々が安心して参加できる行事を展開してまいりたいと考えています。以上でございます。

青木 健 委員長:ただいまの5館の説明に対して、ご質問やご意見のある方はお願いいたします。

質疑応答なし

青木 健 委員長:続いて、富岡・文京・八幡台・東清・清見台公民館お願いします。はじめに、富岡公民館 星野館長、お願いします。

星野富岡公民館長:9月11日(日)に実行委員会を開催し、実施する方向で、日程や実施する内容等について協議いたしました。メインとなる日は10月29日(土)ですが、展示に関しては、日程を前倒しし、10月22日(土)から29日(土)まで一週間行います。高齢化や人口減少、コロナ禍で住民どうしの交流機会が少なくなるなか、「伝えよう文化 繋げよう地域の絆」をテーマに掲げ、あらためて地域住民の交流を通して、地域の絆を深めることをねらいとして開催します。期間中は、来場者のマスクの着用、検温、消毒、手洗い、会場内の換気や密にならないようにするための注意喚起など、コロナ感染防止対策に万全期して取り組みます。飲食を伴う催しは行わず、館内での展示を中心に、屋外で幾つかのイベントを行う予定です。展示については、教室やサークルの作品や、地域活動など、令和3年度・4年度の公民館活動を映像と併せて紹介するほか、ふくた保育園、地元小・中学生の作品や個人作品、郷土資料などです。イベントについては、各地区のお祭りや様々な行事が縮小、中止となる中、できる範囲での催しものとして、公民館駐車場と旧JA下郡支店跡地を会場に、陶芸サークルによる陶器の即売会、とみおかロマン街道の会による創作紙芝居、木更津諏訪太鼓、ふくた保育園児による鼓笛を、10月29日(土)に行う予定です。最初に述べましたように、地域の一大行事である文化祭は、4年ぶりの開催でもあり、来年度以降に繋げていくためにも、地域の結束を大切にしながら、皆で盛り上げていけるよう取り組んで参ります。富岡地区文化祭の取り組みについては、以上でございます。

青木 健 委員長:次に、文京公民館小倉館長、お願いいたします。

小倉文京公民館長:文京公民館でございます。宜しくお願いたします。当公民館では、今年度8月まで、715件、5,289人の利用があり、令和元年度の同時期、895件、8,536人に比べ、79.8%の利用率となっております。本年度の文京公民館まつりの現在の進捗状況を説明します。本年度は、年度当初から、サークルへのアンケート調査を実施し、提出48団体のうち、参加すると回答した団体は28団体ありました。このうち、展示意向は10団体、発表意向は7団体、イベント意向3団体、支援意向団体6団体、検討中2団体となった一方で、参加しないと意思表示をした団体は、20団体でした。このアンケートに基づき、6月に公民館まつりで役員になりそうな方々との打ち合わせなどを行い、コロナ禍ではあるが、サークル等の意欲やサークルの活性化及び地域との繋がりを大切に、「公民館まつり」については、無理をせず、飲食は無しとして、開催しようという考えに至りました。例年、木更津第二小学校の体育館で実施していた芸能発表は、

学校に迷惑をかけないということで、公民館集会室で、実施することとしました。展示部門は、1日では短いとの意見から、10月28日(金)～29日(土)の2日間実施(一部児童の作品は、30日まで)として、3日間の開催といたしました。イベントは、29日(土)30日(日)の2日間で、輪投げ・バルンアート・風船釣り・タイルクラフト・七宝焼き・スーパーボールすくい・パン・菓子販売等を行予定です。今後とも、利用者の皆様や地域の方々に寄り添い行事を展開してまいりたいと考えています。以上です。

青木 健 委員長:次に、八幡台公民館石井館長、お願いいたします。

石井八幡台公民館長:八幡台公民館です。「第39回 上烏田・八幡台・羽鳥野地区文化祭」について、ご説明いたします。今年度の文化祭につきましては、各サークル・団体に6月にお願したアンケートを基に、8月、三地区の区長、前回の文化祭の役員と実施について協議を行い、コロナ禍ではございますが、感染防止対策を徹底し、実施に向けて可能な方法・内容等を検討しながら準備を進め、3年ぶりに開催していくことになりました。9月に入り、文化祭実行委員会を立ち上げ、展示・イベント・芸能発表の各部門別の会議も 団体・サークルはじめ、地域の皆様の力で順調に進んでおります。今年度は、「みんなで創ろう、文化と人の輪」をテーマに、10月29日・30日の土・日の2日間で行う計画です。例年3日間での開催でしたが、今年度は規模を縮小し、2日間の開催としております。3年ぶりでございますので、再び、この地区文化祭を通して、子どもから高齢者まで各世代、地域住民相互の出会い、交流・ふれあいを生み出し、地域の中に、新たな人と人との繋がりや、人と人との関係性、絆を創ってまいりたいと考えております。以上です。

青木 健 委員長:次に、東清公民館佐々木館長、お願いいたします。

佐々木東清公民館長:東清川地区文化祭は、令和元年度に新たに公募で決定した「東清文化 みんなで育む 地域の絆」をテーマに、東清公民館を拠点に活動する団体・サークル及び地域で活動する各種団体・個人の日頃の文化活動の発表や相互の交流を通して心豊かな地域づくりを目指すとともに、地域住民のつながり、心と心のふれあいを図ることを目的に、3年ぶりに開催するものです。なお、39回目となる今年度の地区文化祭は、市制施行80周年及び公民館開館40周年を記念して開催するものですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、模擬店やお楽しみ抽選会、卓球フェスティバル等が中止になるなど、規模を縮小したものになっています。日程及び主な内容ですが、まず、作品展示につきましては、10月29日(土)～30日(日)の2日間、公民

館において、地元東清小・南清小・清川中学校の子どもたちの作品や、絵手紙、書、俳句、パッチワーク、写真、クラフト、木工など、約20団体・個人の作品が展示されます。また、特別展示ということで、地区内の石造物調査の報告や次の世代に残したい“地域の宝”プロジェクトの中間結果を展示する予定です。さらに、新たな試みとして、30日(日)のみですが、東清小学校の体育館において日赤奉仕団による防災関係の展示を行うことになっています。次に芸能・発表につきましては、30日(日)の午前中、東清小学校体育館において、東清小と南清小の合唱及び団体・サークルの発表、そして、地元のシンガー・ソングライター松本佳奈さんをお迎えし、40周年記念ファミリーコンサートを実施する予定です。また、これまで文化祭期間中に、青少年育成住民会議による「こどもチャレンジ大会」を開催しておりましたが、文化祭とは切り離し、防災に特化した形で11月23日に「こども防災フェスタ」を開催する予定です。なお、7月末に開催した第1回文化祭実行委員会において従前の内容の実施要項及び予算を協議・決定した後、9月はじめの役員会において事業の見直しを行ったため、予算については修正前のものとなっておりますのでご了承ください。

青木 健 委員長:次に、清見台公民館多賀館長、お願いいたします。

多賀清見台公民館長:清見台公民館の多賀でございます。よろしく申し上げます。当公民館は、体育館も併設されており、約60のサークルが構成され、多くの方が利用されております。芸術、学習、歌、ダンス・スポーツと多様な活動を日々行っております。9月21日現在の利用件数ですが、両施設を合わせまして、1,019件、11,512人です。文化祭でございますが、38回目を迎える今年度は、8月に、公民館関係団体連絡会、文化祭実行委員会を開催し、『伝えよう つなげよう 世代を超えて』をテーマに、当公民館で活動するサークル・団体や、地域で活動する個人の発表・交流の機会とし、文化の向上と住民相互の交流を図るために開催する運びになりました。昨年の文化祭開催同様、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点により、例年、盛大に行われておりました、対面による芸能発表や飲食等の模擬店は行わず、一般の方や清見台幼稚園・ももや学園幼稚園・清見台小・請西小・太田中の児童生徒やサークルの皆さんの作品展示を中心に、サークル活動の動画放映を10月29日から30日の2日間に渡り開催いたします。清見台公民館は、来年度、開館40周年を迎えます。引き続き、地域の公民館として、誰もが気軽に立ち寄ることができる、誰もが安心安全に暮らせる地域づくりや、社会教育や文化活動の拠点として、新生活に対応しながら地域に根ざした公民館を目指してまいります。

青木 健 委員長:ただいまの5館の説明に対して、ご質問やご意見のある方はお願いいたします。

質疑応答なし

青木 健 委員長:続いて、畑沢・岩根西・西清川・波岡・桜井公民館お願いします。はじめに、畑沢公民館

松本館長、お願いします。

松本畑沢公民館長:畑沢公民館です。畑沢公民館の今年度のサークル数は58サークルで、3年前の78サークルから約20サークル減少しましたが、自治会・町内会・区をはじめ団体利用も多く、今年度4月から8月の利用人数は9778人で、昨年度同時期は8342人でしたので、1436人の増で(利用者は17%増加)、館内はいつも利用者で賑わっております。さて、第38回畑沢公民館地区文化祭についてご報告いたします。今年度も、昨年に引き続き、地区やサークル・団体のご理解とご協力の下、コロナ感染対策を講じて、展示とイベントを開催いたします。テーマは、「みんなで 育て 広げよう 地域の輪」です。地域の文化団体及び個人の日頃の生活・文化活動の成果発表などを通して、地域の文化の向上をめざします。また、多くの地域住民が楽しく集い、ふれあい、交流を深める文化祭とし、地域の連帯感の形成に寄与し豊かなうらおいのある郷土づくりの一助といたします。重点課題は、次の3点です。(1)公民館活動を地域の人たちに紹介する場とする。(2)地域で活動している団体・サークル・個人の日頃の学習成果を地域に還元する場とする。(3)新旧住民のふれあいと交流の輪を広げる場とする。次に、事業日程ですが、令和4年10月29日土曜日、30日日曜日に作品展示を中心に公民館を会場に開催いたします。12サークルと小中学生による作品展示、市販品・手作りの販売を予定しております。そのほかに、グラウンドゴルフ大会と初心者対象の社交ダンス体験会を予定しております。さらに、通常敬老会と合同開催しております芸能発表は、敬老会が中止となりましたので、今年も実施いたしません。希望するサークル・団体の映像による成果発表を実施する予定です。また、サークル紹介の映像も作成中ですので、縮小開催にはなりますが、感染対策を講じたゆるやかな交流の中、地区文化祭を開催して、少しでも地区に元気をお届けする機会とさせていただきたいと思っております。以上で報告を終わります。

青木 健 委員長:次に、岩根西公民館前田館長、お願いいたします。

前田岩根西公民館長:岩根西地区文化祭は、今回で37回目を迎え、「地域の輪、未来へつなぐ文化祭」をテーマに10月29・30日に実施されます。5月の第1回実行委員会において、実施の方向を決め、8月27日の第2回実行委員会で、大方の内容が決まりました。本年度は、芸能部門の各サークルの発表については、大型モニターによる映像での発表を行うことにしました。また、市制80周年と関連させて、岩根西地区の木更津市になる前からの歴史について、地域に発信できることはないかと考え、戦前から現在までの地域の様子や地元の方々も知らない様々な建物や場所についての紹介をするビデオ作品を作ることにしました。現在、長年木更津市のボランティアガイドをされ、今年93歳になる服部量三さんという、地域の生き字引のような方をお願いし

て、作成中です。また当日、地域コミュニティの推進のため、まちづくり協議会を中心に「岩西おしゃべりカフェ」を実施します。その中で、地域のボランティア組織である「ジェスパルス」が、自分たちが育てたサツマイモを焼き芋にして提供して下さる予定もあります。また、お茶のサークルが呈茶の「体験」イベントも予定しています。展示部門では、各サークルの作品や写真や手芸、工芸等の個人作品、地域の保育園、小・中学生の作品を展示します。今年度、こういう形ですが、地域とともにできることをしっかり行い、来年度以降に繋げていきたいと考えています。岩根西公民館からは以上です。

青木 健 委員長:次に、西清川公民館江尻館長、お願いいたします。

江尻西清川公民館長:西清川公民館の江尻でございます。よろしく申し上げます。はじめに、公民館の利用状況でございますが、今年度8月末時点で利用件数が484件、利用者数が3,384人となっており、昨年度の同時期と比較いたしますと利用件数が114件で31%の増、利用者数が1,180人で53.5%の増で、前年度より増加傾向の状況でございます。しかしながら、新型コロナウイルス感染発生の前の令和元年度と比較いたしますと、件数では81.2%、利用者数で66.9%と、数値で見ますと新型コロナウイルス感染症発生前までの数値までには戻っておらず、要因として高齢化によるサークルの減少等もありますが、少なからず新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているものと考えております。このような状況ですが、今年度は3年ぶりに「第33回西清川地区文化祭」を開催することとなりました。例年では、芸能発表・作品展示・模擬店など多くの地域住民の皆様にお越しいただき、二日間にわたり盛大に開催されているところですが、今年度は長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響も懸念されることから、サークルに対して事前に文化祭の実施方法や、参加の有無等について、アンケートを実施し、ご回答いただいた結果を踏まえ、去る9月7日に全サークルを対象に文化祭準備会を開催し、協議を行った結果、サークルの作品展示を中心に、「一般の方の作品、西清小・祇園小・三中の児童・生徒の作品の展示」や「陶器市の開催」、「サークル活動の動画放映」を10月29日から30日の2日間にわたり開催することで決定をいたしました。なお、少し盛り上がりには欠けませんが、恒例となっております「手つきもち」や「ステージ発表」につきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から今年度は実施を見合わせたところでございます。未だ、新型コロナウイルス感染症も先行きが見えない状況ではございますが、「誰もが気軽に立ち寄ることができる、地域の社会教育活動や文化活動の拠点」として、地域に根ざした公民館活動を推進するとともに、「安心して暮らせる地域の絆づく

り」と「コミュニティー形成」を目指して取り組んで参ります。以上です。

青木 健 委員長:次に、波岡公民館河野館長、お願いいたします。

河野波岡公民館長:波岡公民館文化祭について、説明させていただきます。開催に至った経緯ですが8月26日、波岡公民館運営協力委員会を開催して、文化祭をどうすれば良いのか、話し合いました。会議では、様々な意見が出されました。コロナ感染症に対する考え方もさまざまで、また持病をお持ちかどうかなど、置かれている状況も個人によって違います。ですから、全員の意見が一致して、開催方針を一本化するのは難しかったです。最後は、「展示を中心として無理のない範囲で開催する」方向でまとめ、文化祭実行委員会に、原案として提案することでまとめました。9月3日(土)文化祭実行委員会を開催。公民館運営協力委員や利用サークル団体の責任者の皆様に集まっていただき、公運協での話し合い結果を原案として、文化祭の持ち方について検討しました。先の会議同様、開催に向けては、積極的、消極的なさまざまな意見がだされました。しかし、最終的には若い世代から「この波岡地区はこのところ、行事やイベントがまったくなくなってしまった。このままでは、若い人や子どもたちがかわいそうです。ですから、この文化祭を通じて、少しでもできることをやって前進しましょう。」といった声が全体を動かしました。ここ2年間、波岡公民館では文化祭ができませんでした。来年は波岡公民館30周年を迎え、出来れば以前のように姿を取り戻したいと考えており、今年は今来年への過渡期、つなぐ年だと考えています。以前のように100パーセントできなくても、せめて50パーセントでもやってみようじゃないかと。ですから、今年は「出来ることを、出来る人がやる」本来の規模に比べれば、小さくて盛り上がりにも欠けるかもしれませんが、職員にとっても地域の役員の皆様にとっても、文化の継承といった意味でも、やってくださる団体だけでもいいのでやる方向でまとめました。資料をご覧ください。1 文化祭のテーマ、実施方針に変更はございません。2 事業日程及び内容ですが具体的には、展示は実施します。公民館利用サークル、小中学生・幼稚園児、地域の個人や福祉施設の入所者などの作品展示を予定しています。具体的な展示方法等について検討中です。芸能発表は29日で、希望して下さっている気功や太極拳、詩吟、カラオケ、ギター演奏などを予定しています。発表あたっては消毒や検温の徹底、利用者数の制限を設けたりするなど、感染に十分注意して実施してまいります。イベントですが、主に体験を実施していきます。芸能発表と同様に感染対策をしたうえで、隣接する外のグラウンドなども活用して実施いたします。模擬店ですが、飲食については、会場での飲食は禁止。持ち帰りは可能として、現在、調整中です。最後になりますが、このような状況の中でも、何が出来るのか地域の皆様と共に知恵を絞りながら、コロナに負けない新しい文化祭につなげることが出来ればと考えています。よろしくお願いいたします。私からは以上です。

青木 健 委員長:次に、桜井公民館市原館長、お願いいたします。

市原桜井公民館長:桜井公民館でございます。当公民館では、今年度8月までで、623件、7,276人の利用があり、令和元年度の同時期、855件、12,269人に比べ、72.9%の利用率となっております。今年度の「桜井地区文化祭」については、去る6月4日に開催された各町内会長等を構成員とする公民館協力委員会にて、未だ予断を許さない新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、地区住民の生命・健康を第一に、イベントや模擬店等は実施せず、展示発表のみとすることが決議され、その指針に従って、準備を進めているところです。また、当公民館は、今年度創立20周年を迎えますが、記念事業につきましても、文化祭同様、特別なイベントは開催せず、桜井の歴史を油絵で記録していただいている方の作品を記念展覧会として文化祭に併せて開催するとともに、今年度末を目的に、記念誌を発行するという形で実施する予定です。今後とも、利用者の皆様の生命と健康を最優先に、地域の方々やサークルの方々のご意見をもとに、安心して参加できる行事を展開してまいりたいと考えています。以上です。

青木 健 委員長:以上、15館の説明でございました。これに対して、ご質問やご意見のある方はお願いいたします。

秋元委員 :発表ありがとうございました。今回、文化祭を開催するにあたって、みなさん、相当黒をされていると思います。参加する団体、市内団体、迷っている団体、いろいろあったわけですね。特に参加しないサークルについては、単に練習不足なのか、それともここ数年で力を失っているのか、館長や職員はわかっていると思います。今年の参加サークルが来年どうなってくるのか、来年度以降のサークル活動がどうなっていくのか見通せると思うので、各公民館でサークル活動に対してどう支援していくか、見えてくると思います。そのあたりを館内でも議論していただきたいと思います。サークル活動が減ってしまうことは、公民館も困ると思うので、てこ入れなどを考えていただければと思います。サークルによっては「公民館がちょっと支援してくれれば」という声も聞いています。公民館職員の皆さんは、地域を支える、地域を活性化する役割もありますので、今までの考え方を少し変えていただければと思います。

青木 健 委員長:ありがとうございました。今の発言はご意見として伺います。ほかに、何かございますか。もしなければ、金田地域交流センター江澤所長、お願いします。

江澤金田地域交流センター所長

:はじめまして、金田地域交流センターの所長、江澤でございます。私からは、金田地区の文化祭についてご報告いたします。金田地区においては、公民館から地域交流センターに変わりましたので、文化祭におきましては、指定管理者が事務局となって開催をいた

します。その中で、文化祭実行委員会を立ち上げて準備を進めております。開催日としては、10月30日(日)となっております。内容としましては、マルシェ、作品展示、多目的ホールでの発表、各サークルでの物品販売となっております。参加団体については27団体となっております。コロナの感染状況が悪化した場合は中止にすることも参加団体には確認をしております。予算については、すべて指定管理者が事業費として支出することになっております。最後に金田地区の人口変遷を紹介させていただきます。平成24年、アウトレットパークが来た年から1711世帯増えています。人口については約8500名と人口減少がささやかれている中、金田地区は新しい世帯が入ってきています。また、コストコの本社もでき、その従業員も地域に住み始め、一緒に地域を盛り上げてくれるのではないと期待しています。以上です。

青木 健 委員長:ありがとうございました。何か、皆さんからご意見、ご質問ありますか。

北村 副委員長:今の金田の報告に対して質問ですが、金田地区の文化祭には市の補助金は全くでないのでしょうか。それと、毎年15万円を出しているのでしょうか。

江澤センター長:毎年事業費として、15万円支出しています。

北村 副委員長:なぜ、ほかの公民館と同じように出ないのですか。

江澤センター長:指定管理者なので出ていないです。詳しい説明は事務局にお願いしたいです。

事務局 :各文化祭の補助金については「教育振興補助金」として支出されており、金田地区については交流センターができたときに、文化祭は指定管理料の中で行うとされたため、金田地区分の補助金は無しとなったのが経緯です。

青木 健 委員長:ほかにありませんか。ないようなので、続いて公民館文化祭視察研修について、事務局お願いします。

事務局 :資料参照 視察研修案について提案
1館当たりの見学時間15分にしても、終了時間が遅くなる予定。

他の公民館長からも、コースについての指摘あり。

青木 健 委員長:全館を回った方がいいのか、見学時間を長くして、見学する箇所を減らすか、いかがでしょうか。

委員全員から意見をいただく。見学時間は短くても、全館回りたいという意見が多数。

事務局 :ご意見ありがとうございました。全部回りたいという意見が多かったので、全部回るとい
うことでスケジュールを検討したいと思います。コースについては事務局にお任せいただ
ければと思います。

青木 健 委員長:ありがとうございました。ここで休憩をしたいと思います。

暫時、休憩

青木 健 委員長:次に、報告事項「公共施設マネジメント課」から、お願いします。

公共施設マネジメント課:市長公室公共施設マネジメント課、課長の品川でございます。同じく、鴫田と申
します。本日は、「木更津飛行場周辺まちづくり基本計画」について、ご説明さ
せていただきます。

資料に基づき、説明

青木 健 委員長:ありがとうございました。何か、皆さんから質疑などありましたらお願いします。

鈴木委員 :鈴木と申します。多目的ホール、スタジオ、図書館、どれも素敵なものだと思います。収
容人数はどれくらいで考えていますか。

公共施設マネジメント課:まず、多目的ホールですが、市民会館中ホールと一緒に、約 700 席を想定して
おります。形式は、市民会館大ホールのようにすり鉢型です。

鈴木委員 :駐車場は、何台ありますか？

公共施設マネジメント課:はい、約 500 台でございます。ホール専用ではなく、大屋根広場などの利用者
も含めての数でございます。

鈴木委員 :多目的ホールで 700 名のイベントをやるのに、500 台では少ないですね。例えば、ホ
ール地下に地下駐車場などは作らないのですか。

公共施設マネジメント課:これから建物に関しては、具体的に設計をしていきますが、地下にピロティや駐車場を作るということも一つの案として挙がっています。その場合は、50台から100台ほどプラスになると思います。

鈴木委員 :700名のホールに500台の駐車場は少ないので、考えていただきたいと思います。

青木 健 委員長:他に、ございますか。

秋元委員 :吾妻公園の建物の中に、公民館が入ることになりますよね。吾妻は、中央地区の中でも端に位置しますよね。今と比べて、中央地区の人たちが使いにくくなる、そこをどう考えていますか。吾妻と駅前の構想を取り換えることはできないのか、公民館を貸し館業務だけで考えているのか、その位置づけを確認させてください。

公共施設マネジメント課:ありがとうございます。まず1点目、吾妻公園の中に中央公民館が設置されるという点でございます。難しい問題でございますが、もともと、公共施設再配置計画というものがございまして、そこでの公民館の位置づけは、学校を建て直す際に、学校との複合化ということで、長いスパンにはなりますが計画をしておりました。なぜ、公民館と学校なのかと申しますと、学校は地域になくはならないもの、地域に根ざしたものであり、公民館も皆さんの地域活動の拠点ということで、セットにして考えた方がいいのではないかと進めてきました。ただ、施設の整備についてはそれなりの費用がかかるということで、複合化をすることによって、効率よく使っていただきたい、中央公民館については、古くなっております第一中学校を建て直す際に複合化をしていこうと考えておりました。一方で、市民会館の建て替えについては、喫緊の課題であり、この度、補助金を使って建てるということで、中央公民館や図書館を複合化することで、皆さんの使い勝手や費用の効率化ができるのではないかと考えました。そこで、場所は吾妻公園になるのですが、ホール、公民館、図書館をセットで整備でき、皆さんの利便性も上がるということで計画をさせていただきました。中央公民館については、地区の中心という点では乖離があるというか、難しい点ではございます。駅から離れるという点につきましては、今、イオンで出している庁舎間の巡回バスを吾妻公園にも回そうと考えております。そのようなことで、なんとか皆さんの使い勝手の良い施設にしたいと考えております。二つ目の、複合施設にした場合の公民館の位置づけですが、教育部ともすり合わせをしながら、公民館としてふさわしいものにしていきたいと考えております。

秋元委員 :複合施設ということなので、その中でも公民館は公民館、図書館は図書館とそれぞれ位置づけを設計段階の時にやっていただきたい。また、場所については、駅

前がいい。これから車に乗れなくなる人も増えてくるので。学校との併用ということであれば、学校のそばに置く。自衛隊の前に大きな建物ができれば自衛隊としても邪魔ではないか。そういうようなことを考えていただいて、まだ変更はできるはずですから、よく考えて進めていただきたい。あと、これだと岩根に近くなって「岩根公民館、いらないじゃん」とならないように、地域の人たちにとってどうなのかということを考えていただきたい。

北村委員 :基本構想ということで、区長会連合会の方にも説明に来ていただいて、「住民の声を聴く」と書いてありますけれども、いろいろな人から聞いたところによると、この構想は防衛省の方から予算が下りて、ほとんどのことは決まっていると。地元の説明会を、ただ住民の声を聞くだけでなく、終わるんじゃなくて、市民の声をよく聞いて、取り入れるとことは取り入れていかないと、タテマエで終わってはいけないんじゃないかと思います。ぜひ、改善してください。今までのみなさんの意見をふまえていただきたい。

公共施設マネジメント課:そうですね。私どもの方も、お声をいただいて改善できるところは検討をさせていきたいと思えます。ありがとうございます。

北村委員 :公民館の面積が半分になると聞いたが、避難所などのことも考えると、考えられないことなので、よく検討してほしい。

公共施設マネジメント課:検討させていただきます。

鶴岡委員 :ここでいう公民館というのは、中央公民館の移転ということでもいいのか。以前の話では、一中との複合化ということだったので、その話も並行して進むのでしょうか。

公共施設マネジメント課:今現在では、一中との複合化はいったん置いておいて、中央公民館が吾妻公園の文化芸術施設に入るという構想です。

鶴岡委員 :そうだとすると、築地から金田への回遊性などは公民館には当てはまらない。公民館は、地域に密着した社会教育施設ですので、地域の皆さんが使いやすいようになくってはならない。また、公民館はまちづくり協議会などの事務局も担っており、地域にとっての公民館の大事さをいま一度確認してほしい。また、現時点での面積は、狭くなってしまうのでしょうか。

公共施設マネジメント課:共有できる部分を共有して、ある程度、今と同じくらいの面積を考えている。

鶴岡委員 : 今回の公民館に関しては、指定管理などの話は出ていますか。

公共施設マネジメント課: いろいろやり方については検討しています。館自体を指定管理にするなどの方法も考えています。

鶴岡委員 : 今、金田交流センターも指定管理で動いていますが、やっぱり中央公民館なので、直轄でお願いできればと意見をさせていただきます。また、ぜひ文化祭などを見ていただいて、公民館が地域にとって大事な施設であるということを感じていただきたいと強く思います。

公共施設マネジメント課: ありがとうございます。

青木委員長 : 今後の動きもぜひ知りたいと思いますので、また是非意見交換の場を設けていただきたい。

公共施設マネジメント課: 今回の基本構想では、建物の詳細まではできないので、来年度の実施計画の中で、いろいろ精査していきます。今後も教育委員会とも連携しながら、あるべき施設についていろいろ考えていきたいと思います。

鈴木委員 : 平成 30 年度の有料化の導入の時に、反対意見をしたのだが、もうすでに部屋の単価などの話になっていて、忸怩たる思いをした。今回も、各公民館で説明会があるというけれども、すでに決まっているということではなく、私たちの意見もぜひ取り入れてほしい。

小山委員 : 公民館運営審議委員として、図書館協議会の委員になっているが、この図書館は今、文京にある図書館の移転と考えてよいか。

公共施設マネジメント課: 図書館の本館を移転して整備するものです。

小山委員 : 面積は、同程度か。

公共施設マネジメント課: いろいろ検討中ではあるが、今よりも大きくなる計画です。

青木委員長 : 他にありませんでしょうか。無いようなら、終わりとします。

青木委員長 : では、次に報告事項として、市公連連携事業委員会、清見台多賀館長、お願いし

ます。

資料に基づき、報告。

青木委員長 :続いて、広報デジタル委員会、富来田渡邊館長、お願いします。

資料に基づき、報告。
質疑応答なし。

青木委員長 :続いて、各種委員からの報告になります。はじめに、生涯学習審議会秋元委員お願いします。

秋元委員 :8月2日に第1回の会合がありました、役員の選出、教育委員会の事務事業の説明などがありました。その後の委員の中では、「地域力の回復」などが議論されました。地域力の回復には、公民館の必要性を訴えさせていただきました。また、各団体の担い手不足についても上がりました。

青木委員長 :次に、社会教育委員会議、鶴岡副委員長、お願いします。

鶴岡副委員長 : 17日に会議が行われる予定です。今回と同じく、まちづくり基本構想の件についてになります。いろいろ聞いていこうと思います。

青木委員長 :次に、図書館協議会、小山委員お願いします。

小山委員 :7月27日に行なわれました。電子図書のIDとパスワードを、小学校在籍期間限定で、全児童に配布した。図書館の耐震補強工事については、9月から2月末まで実施されます。一部の業務を除いて、休館となります。

青木 健 委員長 それでは、長時間にわたり、慎重・審議をいただきまして、ありがとうございました。皆様のご協力に感謝を申し上げ、議長の任を降ろさせていただきます。

事務局 青木委員長、ありがとうございました。以上をもちまして、第2回定例会を閉会いたします。
以上で全ての議事を終了し、第2回定例会を閉会した。

令和4年9月29日

議事録署名人 木更津市立公民館運営審議会委員長 青木 健